

快光院だより

令和7年晩秋 第135号

浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

～ご案内～

十日十夜法要 (婦人会法要併修)

12月4日(木)午後1時より法要

法要終了後、法話

布教師 大本山善導寺布教師

佐賀・吉野ヶ里・光明寺御住職
早田空善上人

・十夜法要・婦人会法要ではこの1年間の新亡の御霊を追悼いたします。

・終了後には十夜粥のお手土産もございます。
どうぞお参りください。

至心称名 南無阿弥陀仏

昨秋もそうでしたが秋らしい日は幾日あったのか、と思うほど。11月初旬お寺の大銀杏木はいまだ緑鮮やかに。昨年も今年も強風、自然の落葉少なく青葉満々です。

如何お過ごしでしょうか。日毎の寒暖差大で急な寒さにも体調に気を使います。今は旅行時期で私も本来旅行好きです。とは言い乍ら職業、個人的にも自由ききにくく療養中でなおのこと。自室壁の数枚の国内地図を空しく眺め過去に思いを巡らしています。列車は以前から好きで小学校の見学では4年時に日田、天ヶ瀬、ここは善導寺地区から30kmと近いので遠足気分でした。5年時は下関見学(初めて水族館と魚市場も)後、小倉から日田英彦山線を南下、途中の当時九州一長い釈迦ヶ岳トンネル

(4,379m)内では仲間達が窓から顔を出し、そこを抜けると黒煙で顔中まっ黒でした。そして夜明駅から久大線列車で善導寺へ帰りました。昭和34年春、小学校の修学旅行は三池港から初の有明海を渡り初の長崎県(2回目はその数ヶ月後の快光院訪問)で当時の島原内港着。迎えの県営バスで市内は素通り、雲仙各所を回り小浜泊。翌日諫早経由で長崎入りした市内は初めて見る建物、風景、いろんな物が珍しく印象深いものでした。そして午後長崎駅より長崎本線列車で帰路に着き、初めてのこの線は佐賀県境付近の急カーブの連続とゆっくりの車速と有明海の干潟を満喫後ようやく鳥栖駅に着き、ここで久大線に乗り換えの為ゆっくり駅構内を見る時間がありました。

私が小学校の旅行で一番感動したのはこの鳥栖駅での光景でした。この駅は当時国鉄の鹿児島、長崎、久大各線の旅客列車や貨物列車が集まり、その為の多くの施設、設備他を備える国鉄の一大拠点で、大勢の職員が働き活気あふれる駅でした。広大な敷地に操車場は東へ限りなく続き、多くの蒸気機関車が列を並べ汽笛を鳴らし勇ましく白煙を噴く姿を夢中で見入っていました。その様はその頃の高度経済成長(当時の私にはまだ理解出来ていません)へと向かう日本の頑張る力と躍動感を子供心に感じいつまでも眼に残る思い出です。

これから寒さ加わりさらにお日様が有難くなります。空気が乾燥し感染症等どうぞお体お大事になされてください。皆様お迎えになる新しい年がよき年でありますことを。

合掌
令和七年十一月 快光院住職 永野寶信

よくテレビで芸能人の家系をたどる番組がありますが、快光院にもときどきご先祖探しに訪ねてこられる方がいらっしゃいます。お寺には亡くなられた方々を記録している過去帳と呼ばれるものがありまして、そこに御名前や御戒名、没年月日が記録されています。快光院の場合、一部、「〇〇の父」や「〇〇の妻」といった関係性も記されておりますが、全部ではないので過去帳だけで詳細に家系をたどることは難しく、十分なお力添えができないのが残念ですが調べられる限りの情報はお伝えしています。

その快光院の過去帳を最近も調べるがありました。その時に思ったことが亡くなられた子供の数の多さです。例えば今から約 200 年前（江戸後期）のある年を見ると全体の3割が子供の御戒名でした。そこから100 年経った昭和元年では全体の2割弱でした。当然、今と当時では医療も栄養レベルも違うので幼くして命を落とす子供が昔の方が多いはわかりますが、実際にその数を目の当たりにすると奇跡の確率で生まれることができても簡単には一年一年生き続けることができない厳しさを知りました。

平成生まれの私はそうした命の厳しさを感じず、そういう意味で恵まれた環境で生活を送りましたが、改めて生き続けていることの有難さを思ったとともに、ご先祖と呼ばれる顔を知らない方々ですが、そのご先祖様なくして今の私が生きていないことを強く思う機会となりました。

善導大師・法然上人御身拭式

12 月 25 日（木）午後 2 時より

快光院本堂にて

「御身拭式」とは

快光院本堂でお祈りしている善導大師と法然上人の御尊像をきれいな布で拭い清める式です。

ご参詣の皆様お一人お一人に布をお渡しして御身拭いを行います。一年に一度の機会ですので、ぜひお参りください。

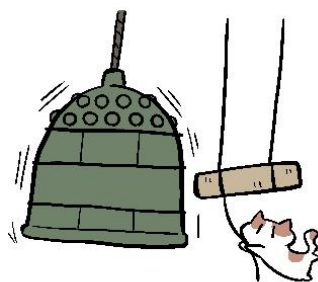


大晦日 除夜の鐘

12 月 31 日（水）午後 11 時 45 分頃～

快光院鐘撞堂にて

1 年間の煩惱を払い、清らかな心で新しい年を迎えましょう。



お寺行事

- 12 月 25 日 当寺別時念仏会（午後 2 時）
（善導大師・法然上人御身拭い式）
- 12 月 31 日 除夜の鐘（午後 11 時 45 分頃～）
- 1 月 18 日 観音堂御縁日（午後 2 時）
- 2 月 25 日 別時念仏会（午後 2 時）

浄土宗 演暢山 快光院

〒855-0851

長崎県島原市萩原 1 丁目 1227 番地

電話：0957-62-2742

Fax：0957-64-6624

Mail：kaikoin.temple@gmail.com

郵便振替：01770-4-92594